**復興から創生へ　未来へつなぐ まちづくり**

**平成29年度の主な事業内容**

　　平成29年第1回大崎市議会定例会の冒頭、伊藤市長は今年度の市政運営の基本的な考え方や重要施策をまとめた施政方針を述べました。その中から一部を抜粋し、主な事業についてお知らせします。

政策課政策企画担当　23-2129

●市民が主役協働のまちづくり

○市役所本庁舎等の建設

　市役所本庁舎の建設は、広域防災活動拠点整備や市役所周辺整備事業などと整合性を図り進めます。

　田尻総合支所庁舎建設は実施設計、鳴子総合支所庁舎建設は周辺整備も含めた基本構想に着手します。

○市の花・木・鳥、市民歌の普及

　昨年11月３日に制定した市の花・木・鳥、市民歌について、市内外に広く発信し、普及活動に努めます。

○防災対策

　デジタル防災行政無線システムは、４月から本格運用を行います。災害発生時の放送以外に、緊急情報の提供や河川映像情報の提供など、最大の効果が発揮できるよう努めます。

〇宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略

　新規事業の創出、既存事業の拡充・推進により、各施策に設けた達成値を目指し、持続可能な地域社会の実現に向け、各種施策を推進します。

〇地区集会所の整備

　集会所整備事業のメニューに新たに「掲示板整備事業」を創設し、コミュニティ活動の向上と、連帯感のさらなる醸成を図ります。

○地域公共交通

　「人とまち・暮らしをつなぐ公共交通」を目指し、中心市街地循環便の運行など、各種事業を推進します。

　地域内公共交通は、各地域の主体となる運営委員会、事業者、行政が三位一体となって引き続き取り組みます。

●安全・安心で交流が盛んなまちづくり

○中心市街地復興まちづくり

　市役所周辺整備は、街並みの改善と道路整備を目的とし、土地の仮換地や建物の移転を進めます。

　緒絶川周辺整備については、中心市街地の歴史性を色濃く反映している風情ある街並みを守り、活用しながら、魅力ある施設の整備を進めます。

　千手寺町周辺地区の整備は、旧市民病院の跡地を活用した防災広場を含め、仮称「道の駅おおさき」の実施設計を行います。

○三本木パークゴルフ場建設

　パークゴルフ協会や地元体育協会、まちづくり協議会などとの懇談会を開催し、皆さんに喜ばれる施設計画策定に努めます。

○河川事業

　一昨年の関東・東北豪雨災害を教訓とし、早期に治水安全度などの向上が図られるよう、国・県の機関へ強力に要望します。

○住宅に係る移住定住支援

　移住する若者世帯の住宅購入やリフォームに要する費用を助成し、若者世帯の移住を引き続き支援します。

●地域の個性を生かし　豊かな心をはぐくむまちづくり

〇図書館等複合施設の建設

　新図書館の建設は、７月の開館を目指し、現在建物と外構工事を進めています。

　開館に向けて、知識と情報の拠点にふさわしい蔵書や、利用者サービスなど、ソフト面の充実についても努めます。

〇岩出山地域の小学校統合

　平成30年４月の新たな小学校開校に向け、さらなる学校教育環境の整備に取り組みます。

○芸術文化活動

　第41回全国高等学校総合文化祭が本県で実施され、軽音楽部門の大会が８月１日、２日の両日、市民会館で開催されます。

○スポーツの推進

　「全国高等学校総合体育大会」が南東北３県で開催され、本市では鳴子スポーツセンターを会場に８月４日から６日まで、相撲競技を実施することから、本大会が成功裏に終えるよう進めます。

○文化財保護

　伊達政宗公の生誕４５０年という記念すべき年であることから、政宗公に関連した企画展を旧有備館で開催します。

●活力あふれる　産業のまちづくり

○観光振興

　個々の宿泊施設が、独自の特徴をいかした「おもてなし」を提供できるよう、人材育成に取り組みます。

　東日本旅客鉄道株式会社が運営する、最上級のリゾート列車「トランスイート四季島」がデビューし、本市の鳴子温泉駅に停車します。

　これを契機に、平成31年度に県が開催を予定しているデスティネーションキャンペーンや、外国人観光客の受け入れ態勢の構築も併せて行い、観光振興の推進を加速します。

○商工業振興

　緊急景気対策として、「宝の都(くに)・大崎」プレミアム商品券発行事業を実施します。　古川新鶴巻工業団地の調査をはじめ、新たに三本木桑折地区に小規模な工業団地の整備を進めます。

○畜産振興

　９月に開催される「全国和牛能力共進会宮城大会」を契機に、「仙台牛」の主産地として、優良な繁殖雌牛と肥育牛の生産が維持できるよう、本市産牛のブランド化などを推進します。

○農業振興

　最重要課題である担い手の育成に向けて、青年就農希望者の受け入れ態勢を構築し、認定新規就農者制度や青年就農給付金なども活用し、就農にチャレンジする青年就農者へ独自の支援を行います。

　大崎の米をけん引していけるよう、デビューから3年を迎える「ささ結」を戦略米とし、地産地消を推進しながら国内外へ発信していきます。

●地域で支え合い　健康で元気なまちづくり

○子育て支援

　千手寺町周辺地区に予定している子育て支援拠点施設の整備は、基本設計と実施設計を行い、平成31年度中に完成予定としております。「子育てわくわくランド」と「古川中央児童館」を合築し、より充実した子育て支援に取り組みます。

○高齢者福祉及び介護保険事業

　田尻地区に整備を進めている地域密着型介護老人福祉施設と認知症対応型共同生活介護事業所については、平成29年度中に開所する予定です。

　地域包括ケアシステムの構築を推進し、介護保険サービスと高齢者福祉サービスの充実を図ります。

○マイナンバー制度への対応

　本年７月から、国と市区町村との情報連携と、マイナンバーに関するウェブサイトの本格運用を控え、関係機関と連携しながら、本格運用に向けて万全を期して取り組んでまいります。

●自然と共生し環境に　配慮したまちづくり

○地域おこし協力隊

　地域の維持・強化を図るため、市のあらゆる資源の保存と新たな魅力を発掘し、事業を企画・提案する取り組みに、地域おこし協力隊を受け入れ、地域の活性化を推進します。

〇世界農業遺産への申請

　世界農業遺産への認定を大きな契機として、大崎地域の基盤である資源豊かな農業を活かした地域の活性化や、一層誇りある地域づくりを目指します。（詳細は16ページに掲載）